

山口 畝良 選手・平瀬 大 選手の紹介

愛知県名古屋市出身で千石小学校、今池中学校、愛知高校、中京大学と全て地元 학교に通い、勉強と学校の部活動のサッカーとで文武両道の道を進んできた。中学校3年生時にすでに身長が193cmに達し、その長身を活かしたゴールキーパーとして育てるべく、監督が沢山の練習メニューを試しながらトレーニングに挑戦させてくれた。小中学生時代からプロに憧れていたが、愛知高校時代に中京大学サッカー部と練習試合をした折に、長身GKとして目に留まったことがきっかけとなり、オファーを受け進学を決めた。プロへの道筋に光が見えた瞬間だった。

大学初年度は試合には出られなかったが、当時の海野剛キーパーコーチによる熱心な指導のおかげで成長できたと感謝している。大学3年生の時、東海学生サッカーリーグのトーナメントで春夏連続優勝し、リーグ戦でも優勝を果たした。その時の1学年先輩である4年生にはJ1アビスパ福岡の碓井聖生、J2ロアッソ熊本の藤井皓也、大分トリニータの小酒井新大など、現在Jリーグで活躍する諸先輩方が在籍し、チーム総力の賜物での成績であった。自身が4年生の時には、8試合連続無失点記録を作るなどチームに貢献できて嬉しかった。FC岐阜での練習参加の機会も得て、その後どのチームよりも早くオファーを受けたことが決め手となり、加入を決めた。

名古屋の生まれ育ちで、地元・東海エリアのゴールキーパーとしてチームに貢献できるよう、3人の先輩キーパー達の良いところをしっかりと学び取って脱皮していきます。目標はチームの順位を上げ、昇格に貢献することであり、個人としては日本代表選手や海外でも活躍できる選手になることです。多くのファン・サポーターの皆さんからのご声援をいただいておりますが、その応援に応えるため、自分も早く戦力になれるように頑張ります。



写真：©FC GIFU

やまぐち せう 山口 畝良 選手(22歳)

ホームタウン応援大使
飛騨市、白川村
ニックネーム
セラ、ジュニオール

21
GK

長崎県佐世保市出身で市立白南風小学校時代に白南風SCでサッカーを始めた。3歳上の兄がサガン鳥栖U-18に合格したのを機に、自分も同じ道を進むべくサガン鳥栖U-15のセレクションを受け合格した。それを機に母親は二人の息子たちのために鳥栖市に一緒に転居し、父親は勤めのために佐世保市に残った。

サガン鳥栖U-15では、地域のクラブチームでプレーしていた他の選手との実力差を痛感した。当時のサガン鳥栖U-15監督の金明輝(キム・ミョンヒ/現アビスパ福岡監督)と桑原コーチが、毎日約1時間の特別な練習指導してくれた。そのおかげで今の自分があると心から感謝している。

サガン鳥栖U-18が全寮制になったのを機に寮に入り、更にサッカーに集中した。早稲田大学サッカー一部時代は、3年生までに3度の大怪我をしてしまって悲惨な時期を過ごした。4年生の春になり試合に出場することができ始め、サガン鳥栖の特別指定選手にもなり、8月には川崎フロンターレ戦でJ1リーグ初出場を果たした。

2023年にJ1のサガン鳥栖に加入。7月にはJ2のレノファ山口FCに期限付き移籍して、1年半で33試合に出場と活躍し、2025年5月からはFC岐阜に期限付き移籍で加入した。FC岐阜に加入してから約3ヵ月が経過しましたが、選手同士がコミュニケーションをとってお互いに意見を交わす場面も増え、8月の強化キャンプでは厳しく充実した練習を行い、運動量や熱量が向上しました。今後も、どんな局面でも絶対に負けない精神力を発揮し、パワフルな声で鼓舞し合いプレーをする必要性を感じています。リーグ終盤戦に向け、チーム力が向上していますので、皆さま引き続きの応援をよろしくお願いいたします。



写真：©FC GIFU

ひら せ だい 平瀬 大 選手(24歳)

ニックネーム
だい

40
DF